大阪府立大学 OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY
地域保健学域 総合リハビリテーション学類
大学院総合リハビリテーション学研究科

Human resource development project for COmmunity REhabilitation Specialist

在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成プロジェクト

～ 医療と在宅ケアの連携を推進する人材養成プログラム ～

（平成 26 年度 文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」選定）

プロジェクト概要

大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科の**「地域リハビリテーション学」コース**（履修証明プログラム）と、地域保健学域総合リハビリテーション学類の**学士課程教育プログラム**により、今後の地域包括ケアシステムにおいて求められる高い実践能力と指導能力を有する理学療法士・作業療法士の人材育成をめざす事業です。

履修証明プログラム

大学院総合リハビリテーション学研究科に、理学療法士・作業療法士を対象とした**「地域リハビリテーション学」コース**を履修証明プログラムとして新たに開設します。

病院勤務者には病院から在宅ケアへ円滑に患者をつなぐための制度理解を深められるような、また、訪問リハビリテーションなどの在宅支援に関わる者には医療とのネットワーク構築を推進できるようなカリキュラムを構成し、医療と在宅ケアの連携を推進できる専門的医療人材の育成をめざします。

学士課程教育プログラム

総合リハビリテーション学類理学療法学専攻・作業療法学専攻の学生を対象に、在宅リハビリテーションに関する講義と実習から構成します。講師には在宅支援に関わる経験豊かな理学療法士･作業療法士を招いて講義を行い、在宅リハビリテーションにおいて必要な様々な技術、リスクマネジメント、家族介護者への健康支援などについて幅広く修得した後、訪問リハビリテーション実習を通じて実践的技術の修得と対象者の実像理解を促進します。

履修証明プログラムとは？

履修証明プログラムは、社会人の多様なニーズに応じた、様々な分野の学習機会を提供することなどを目的に、2007 年の学校教育法の改正によって設けられた「履修証明制度」を活用した学習プログラムで、以下のような特徴があります。

1. 大学の学位に比べて短期間に修得が可能です。
2. 再就職やキャリアアップに役立つ、社会人向けの教育プログラムです。
3. プログラム修了者には学校教育法に基づく履修証明書が交付されます。

「地域リハビリテーション学」コース について

充実した講師陣：医師、看護師、保健師、社会福祉士、医療経済学者、行政担当者、システムエンジニアなど各分野の専門家を講師として招き、病院と在宅ケアの連携を理解・推進するための知識の修得および専門職としてのスキルアップを図る内容の 8 講座（120 時間）を開講します。

多様な受講環境：働きながらでも受講しやすい環境を提供するため、e-learning 講義と交通至便なサテライト教室（I-site なんば）でのスクーリングで構成する予定です。加えて、受講生には通信環境を備えた情報端末（iPad）を貸与し、遠隔での学習環境を整備します。

カリキュラム概要：全 8 講座のカリキュラム概要は、以下を予定しています。病院と在宅ケアの連携を理解・推進するための知識修得をめざす 4 講座として、「医療・保健・福祉をめぐる社会動向」「在宅医療における IT 情報活用の倫理」「マネージメント学」「社会資源の活用」、専門職としてのスキルアップを図る 4 講座として、「生活期の疾病理解」「在宅医療・終末期医療」「在宅ケアにおける予後予測」「訪問リハにおけるリスクマネジメント」を開講します。また、本プログラムの修了証（履修証明書）は、理学療法士・作業療法士の各職能団体による生涯学習プログラムとの互換性を得られるよう、調整を進めています。

コア・プロジェクト（在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成事業）
事務局：〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの3-7-30 D508　大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科 内
電話 072-950-2111（内線 3031）　URL：http://www.core.rehab.osakafu-u.ac.jp/